

2014年度 日本ソーシャルワーカー協会全国大会(仙台) 開催要項

「ソーシャルワークと隣人」

宮城県沖を震源とする東日本大震災から3年が経過し瓦礫が撤去された段階である。20年を経過した阪神大震災でも兵庫県・災害復興公営住宅265カ所・2012年1年間で孤独死は前年比25人増の61人そして仮設住宅が解消された「平成12年以降」孤独死総数778人に上る。その61人の内訳では平均73・9歳(男性41人・女性20人)で男性急増し年齢別では80代18人・70代22人・60代12人と60代以上が「9割」を占め理由は病死52人・自殺5人・気管支事故2人・火災・酸化中毒など3人・で『復旧=75%』とされている。同様の出来事が待っているのか・震災以降仙台市内の自家用車は平均10kmスピードが増し・定番「北国の春」は歌われなくなった。今回の大震災では地震・津波・原発事故の三重奏であったことが「復旧」をより困難にしている。あえて言えば岩手で地震・宮城で津波・そして福島で原発事故と・それぞれの県で条件が異なり住民の「おなじ」という感情も複雑になった。

そこで今大会ではソーシャルワークの原点でもある「隣人観」を再考してみたい。西欧では隣人愛はそれこそミレニアムの歴史を持つ。それに匹敵する日本語は「善隣」である。加賀・金沢の歴史には戦後の公民館その前身たる善隣館が戦前から市内に15カ所できていた。大正7年の米騒動で続出する生活困難者を助けて・託児・内職斡旋・診療までを行う館が小学区である「校下」に篤志家によって建てられた。それは金沢独自の互助組織・セツメントであり社会教育の場でもあり・お仕着せの館にはない・生き生きとしたものを感じられたという。被災後の実感を率直に語り合いながら人間の復興を模索したい。

2. 担当 宮城県ソーシャルワーカー協会
3. 期日 平成26年5月17日(土)～5月18日(日)
4. 会場 仙台ガーデンパレス(仙台駅・東口徒歩5分)
5. 参加者 日本ソーシャルワーカー協会会員及び関係者・オブザーバー
6. 費用 参加費 2000円(資料代を含む)
 宿泊料 1泊8100円(仙台ガーデンパレス, 朝食付き)
 交流会費 6000円
7. 日程

5月17日(土)		5月18日(日)	
		8:00	理事会
		10:00	総会(～11:30)
		11:30	各種委員会(～12:00)
12:00	受付		
13:00	開会・会長講演「地域福祉におけるソーシャルワーカーの役割と実践」	⇒	日本ソーシャルワーカー協会会長 岡本民夫
14:00	講演2「大坂譲治と夢」大坂欣哉	⇒	仙台福祉教育児院 院長 大坂欣哉
15:00	討論「ソーシャルワークと隣人」 司会大坂純 岩手・宮城・福島から	⇒	司会仙台白百合女子大学教授 大坂純 岩手 三上邦彦 福島 鎌田真理子
17:00	終了		尚宮城は大坂純先生を含みます。
18:00	交流会(ホテル内にて) 終了後、解散		

*4月からの消費税値上げで「料金」に変動がでます。

**問い合わせ・もしもしコール・022-233-1755 米川文雄

(会員用)

2014年度 日本ソーシャルワーカー協会

総会・宮城大会参加申込書

5/17 (土)	宮城大会	参加	
	懇親会	参加	
	宿泊 (お泊りの方は○を記入ください)	前泊 5/16 (金) 5/17 (土) 5/18 (日)	シングル ダブル ツイン
5/18 (日)	理事会 (委員合同)	参加	
	総会	出席	欠席

*参加は○で囲ってください。

*ご希望の宿泊日、部屋を○で囲ってください。

*理事会にオブザーバーとして参加できます。

氏名：

住所：

同封の「総会」の出欠ハガキは必ずご返送いただきますようお願い致します。

締切日：2014年5月9日 (金)

FAX：03-5913-8872

E-mail：jasw@jasw.jp

(非会員用)

特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会

『宮城大会』(2014年5月17日(土))

参加申込票

氏名		Tel : Fax : E-mail :
住所	〒	
所属		(○で囲む) 非会員(学生、一般)
何らかの配慮が必要な方は、ご記入下さい。 (例) 車いすで参加等。		

上記申込票に所定の事項をご記入の上、**FAX 送信**をお願い申し上げます。

(郵便、E-mail も可)

締切日： 2014年5月9日(金)

FAX : 03-5913-8872

E-mail : jasw@jasw.jp